

1. 論文

A 欧文

Maruya Y, Hidaka M, Pecquenard F, Baubekov A, Nunoshita Y, Ono S, Adachi T, Takatsuki M, Tanaka K, Ito S, Kanetaka K, Eguchi S: Partial portal vein arterialization during living-donor liver transplantation.: a case report. Surg Case Rep, 6(1):7, 2020

Yanagi H, Terashi H, Takahashi Y, Okabe K, Tanaka K, Kimura C, Ohura N, Goto T, Hashimoto I, Noguchi M, Sasayama J, Shimada K, Sugai A, Tanba M, Nakayama T, Tsuboi R, Sugama J, Sanada H: The Japanese registry for surgery of ischial pressure ulcers: STANDARDS-I. J Wound Care, 29(Sup9a): S39-47, 2020

Kashiyama K, Fujito H, Lee J, Oshiro Y, Ishiyama S, Takahara E, Tanaka K: Plastic Surgery in Patinets with Umblical Lesions: A Case Series. Int J Surg Wound Care 1: 97-105, 2020

B 邦文

(学術誌に掲載された総説)

田中克己 :【手外科必修ハンドブック-専門医取得のためのファーストステップ-】解剖と機能 手・指の機能、形成外科 63 巻増刊 S2-6、2020

田中克己 :【手外科必修ハンドブック-専門医取得のためのファーストステップ-】解剖と機能 皮膚・爪甲、形成外科 63 巻増刊 S7-9、2020

田中克己 :【手外科必修ハンドブック-専門医取得のためのファーストステップ-】解剖と機能 神経・血管の機能、形成外科 63 巻増刊 S12-16、2020

田中克己 :【STEP by STEP の写真と図で理解する 手指の外傷治療】手指熱傷における植皮術と皮弁術、PEPARS、158 号 106-116、2020

土居華子、吉本 浩、田中克己 :【熱傷局所療法】われわれの行っている熱傷局所療法 II 度熱傷創に対するヒドロコルチゾン・混合死菌浮遊液ガーゼの使用、形成外科、63 巻 (12) 1519-1527、2020

(原著)

岩尾敦彦、田中克己、葉石慎也、大石正雄 : 神経障害性疼痛に対する神経再生誘導チューブ (ナーブリッジ) の使用経験、日手会誌、36 (4) 529-532, 3030

西條広人、松島吉宏、田中克己 : 褥瘡診療への形成外科医師の介入が慢性期療養型病院の褥瘡診療に与える影響について、日本褥瘡会誌、22 巻 (4) 391-396, 2020

(著書)

田中克己、第 5 章 手足の先天異常 2. 足の先天異常、形成外科治療手技全書IV 第 1 版、波利井清紀、野崎幹弘監修 pp214-226、克誠堂、東京、2020

2. 学会発表

田中克己、吉本 浩、大石正雄、岩尾敦彦
上肢神経障害および疼痛に対する脂肪弁移植
第 63 回日本手外科学会学術集会 (Web 開催：6 月 25 日～8 月 17 日)、2020 年

田中克己
美しい手を目指した植皮と皮弁【教育講演】
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会 (名古屋市) 8 月、2020 年

田中克己、岩尾敦彦、土居華子、吉本 浩、檜山和也、今村禎伸、澤瀬 隆
下顎再建におけるインプラント義歯の口腔機能と整容への可能性【シンポジウム】
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会 (名古屋市) 8 月、2020 年

田中克己
手足の先天異常・変形【教育講演】
日本形成外科小委形成外科分野指導医 第 6 回教育セミナー (横浜市) 10 月、2020 年

3. 講演

田中克己
上肢における皮弁・脂肪弁の役割 ～Principle and Technique～
兵庫県手外科症例検討会特別講演会 (Web 開催) 2020 年 9 月

4. その他 (新聞・テレビ等に掲載・報道された活動)

田中克己
女性特有の手の痛み・変形 女性ホルモンの減少が関係
(女性のための医療と健康) 長崎新聞 2020 年 10 月

【研究費】

2020年～2022年 再生医療実用化研究事業（AMED）表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療と腹腔鏡手術と再生医療を組み合わせた革新的な術式の開発
金高賢悟（代表） 田中克己（分担）